

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、測定しようとする資質・能力を発揮することが求められる言語活動を展開する文脈を重視した。

結果概要

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

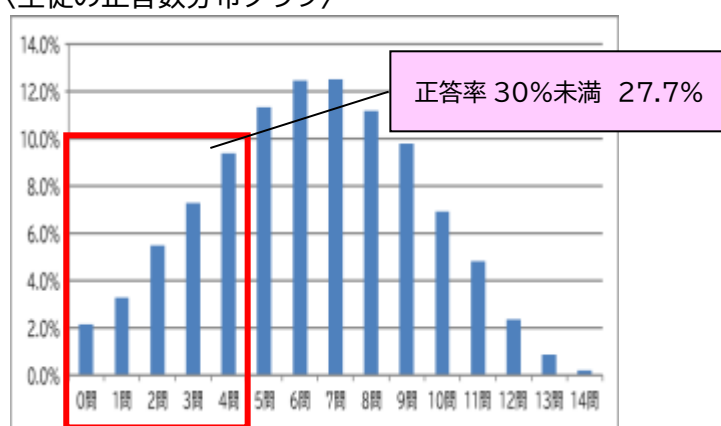
◇語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、意味を捉えることは概ねできている。

◆複数の資料を読み取り、自分の経験や知識と関連させて考えや意見を書くことに課題が見られる。

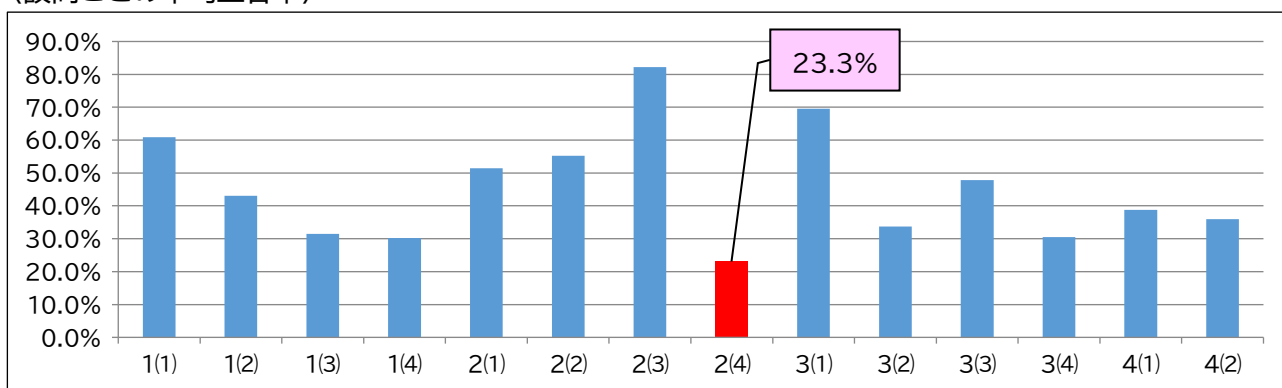
〈分類・区分別集計結果〉

	分類	区分	問題数	正答率
学習指導要領の内容	知識及び技能	言語の特徴や使いに関する事項	3問	70.9%
		情報扱い方に関する事項	(1問)	30.5%
		我が国の言語文化に関する事項	2問	37.3%
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3問	34.9%
		書くこと	3問	37.3%
		読むこと	3問	43.3%
評価の観点	知識・技能	知識・技能	(6問)	53.0%
		思考・判断・表現	9問	38.5%
問題形式	選択式	選択式	6問	52.6%
		短答式	5問	46.9%
		記述式	3問	28.0%

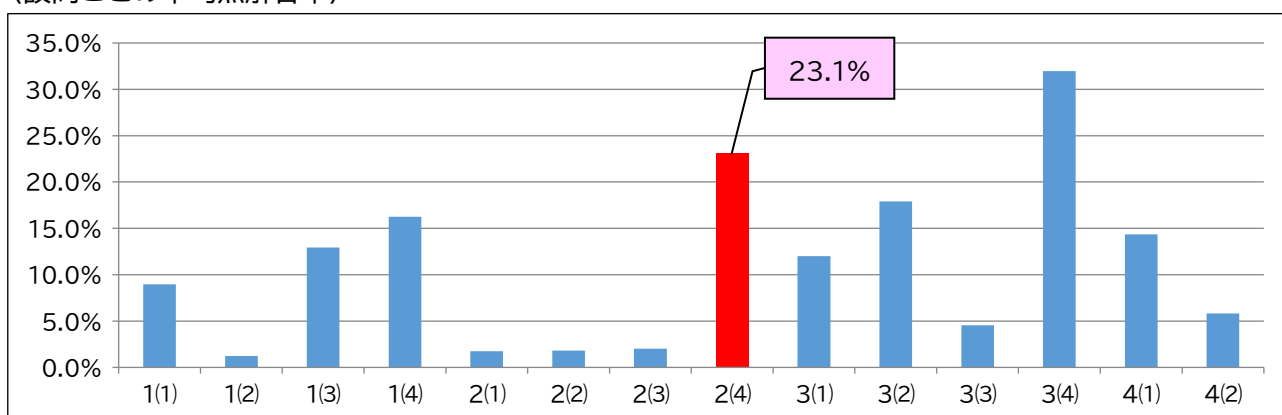
〈生徒の正答数分布グラフ〉



〈設問ごとの平均正答率〉



〈設問ごとの平均無解答率〉



特に課題の見られた領域・問題と指導改善のポイント

〔第2学年 C読むこと (1)オ〕文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

【趣旨】文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。

具体的な設問例

【大問 2(4)】

問題 あなたは補助犬について、どのような考えをもちましたか。
条件にしたがって書きなさい。

【資料1】
導盲犬の数は年々減っている

導盲犬の数は年々減っている。これは、導盲犬の数が年々減っているからである。導盲犬の数は年々減っている。これは、導盲犬の数が年々減っているからである。導盲犬の数は年々減っている。これは、導盲犬の数が年々減っているからである。

年度	導盲犬の頭数
2015年度	1,200頭
2016年度	1,150頭
2017年度	1,100頭
2018年度	1,050頭
2019年度	1,000頭
2020年度	950頭
2021年度	900頭
2022年度	850頭
2023年度	800頭
2024年度	750頭

【資料2】
補助犬の数は年々減っている

補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。

【資料3】
補助犬の数は年々減っている

補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。

【資料4】
補助犬の数は年々減っている

補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。補助犬の数は年々減っている。これは、補助犬の数が年々減っているからである。

〈正答例〉

・資料3から、介助犬の数と聴導犬の数がゼロである都道府県があることや、日本国内の盲導犬の頭数が2015年度から2024年度にかけて年々減っていることがわかる。私がこれまでに補助犬を見かけたのは数回程度であり、補助犬の数はあまり多くは無いのかもしれない。しかし、資料2の介助犬ユーザーの話からもわかるように、補助犬はユーザーの心身を支えるという大切な役割を果たすため、全国的に頭数が増えるとういと思った。

〈誤答例〉

・補助犬は人の目、耳、手足となって働くように訓練された犬だと資料1からわかったが、資料3を見ると、盲導犬、介助犬、聴導犬とも、福岡県、鹿児島県、沖縄県の頭数は関東や関西地方に比べて少ない上に、日本国内の盲導犬の実働頭数は2015年度から2024年度にかけて年々減ってしまっている。以上のことから、補助犬を必要とする人たちが困っている可能性が高いので、補助犬がもっと増えてほしいと感じる。

誤答例の分析と課題

○それぞれの資料(文章)の情報を適切に読み取り、理解することができていない。

○資料(文章)から読み取ったことを自分の知識や経験と結び付けて、自分の考えを明確に表現することに課題がある。

指導改善のポイント【授業例】

○学習指導要領が示す資質・能力(指導事項)がどのような力なのかを教師が十分に理解し、育成を目指す資質・能力に適した言語活動を設定し、言葉による見方・考え方を働かせた主体的な学習活動の展開が重要です。

○育成を目指す資質・能力に関する「Bと判断する状況」を具体的に想定し、モデル文等を作成するなど、目指す児童生徒の姿をより明確にし、指導のポイントを確認することが重要です。

【授業例】 生徒が見方・考え方を働かせて主体的に言語活動に取り組むための問いを持たせる場面

「資料(文章)の内容には、自分のこれまでの経験や、知っていることと、どのような関連がありそうですか。(書き出してみよう・話し合ってみよう)」



「どんな情報が示されているのかな。」「資料(文章)が伝えたいことはなんだろう。」「自分の経験や知識とつながるのは〇〇かな。」

「資料(文章)の内容について、自分のこれまでの知識や経験と関連させながら読むことで、どのようなことが理解でき、どのような考えをもつことができたかな。」



「資料(文章)の内容を通して、〇〇について理解や知識を深めることができた。そこから、〇〇という考えを持った。」「資料(文章)で示している〇〇から、〇〇という新たな考えを持つことができた」「自分は〇〇という考えを持ったが、他の人はどのように考えたのだろう。」

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という**数学的活動を行う文脈**を重視した。

結果概要

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

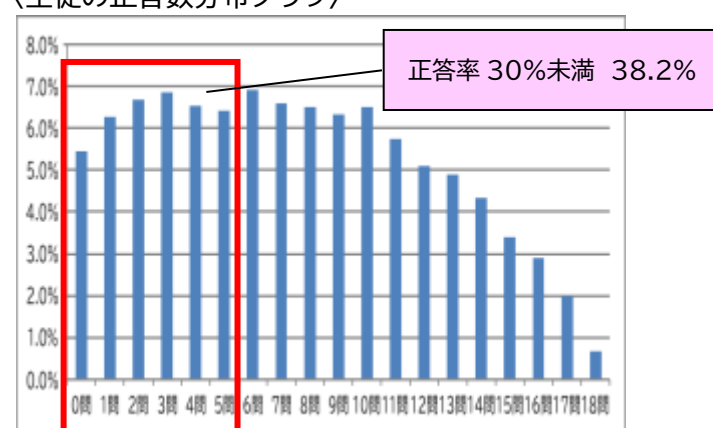
◇数直線上の正負の数の大小関係や、比例・反比例の性質については概ね理解できている。

◆数量及び数量の関係を文字を用いた式で表すことに課題が見られる。

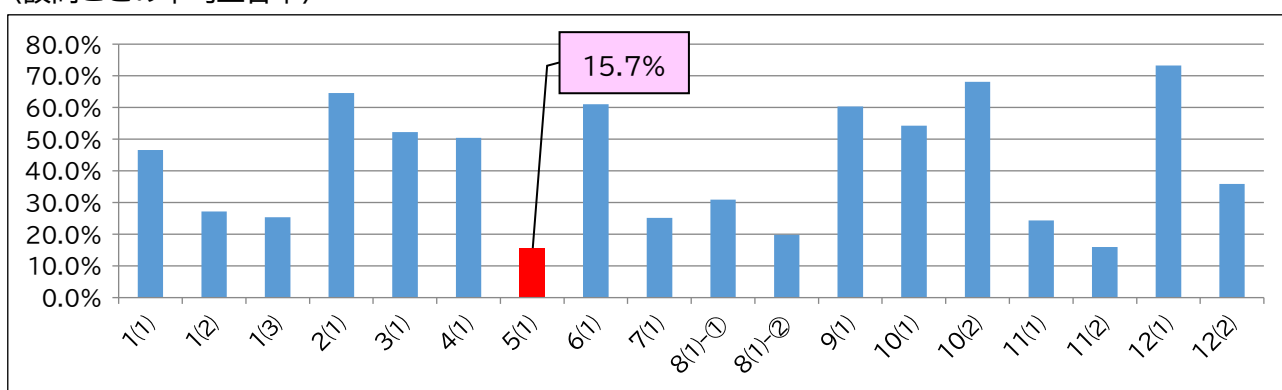
〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	問題数	正答率
学習指導要領の領域	数と式	13 問	35.3%
	図形	(4 問)	40.0%
	関数	5 問	58.4%
	データの活用		
評価の観点	知識・技能	16 問	43.7%
	思考・判断・表現	2 問	25.9%
問題形式	選択式	2 問	62.5%
	短答式	14 問	41.0%
	記述式	2 問	25.9%

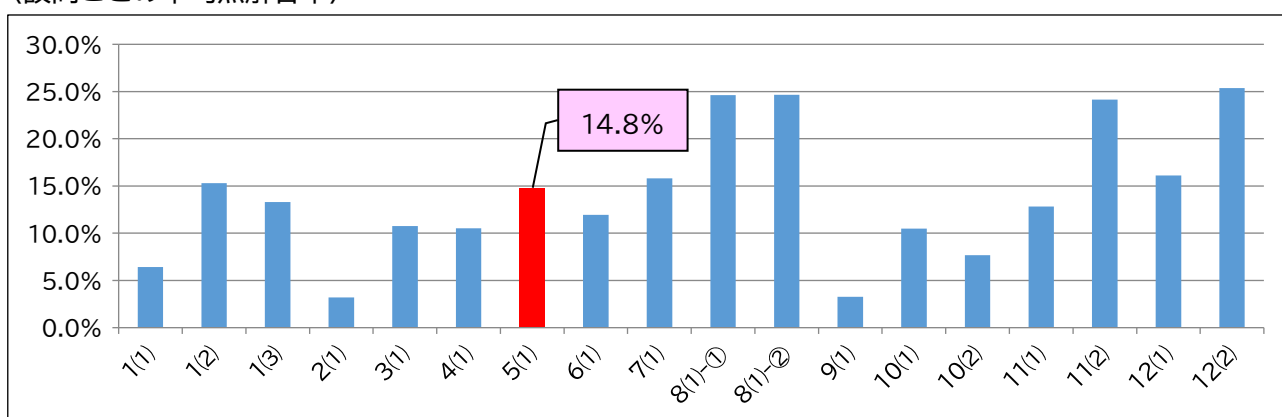
〈生徒の正答数分布グラフ〉



〈設問ごとの平均正答率〉



〈設問ごとの平均無解答率〉



特に課題の見られた領域・問題と指導改善のポイント

〔第1学年 A 数と式 (2)ア(エ)〕 数量の関係を文字を用いた式に表すことができることを理解すること。
【趣旨】 連続する2つの偶数を文字式で正しく表現できるかどうかをみる。

具体的な設問例

【大問5】

問題 「偶数」と「連続する2つの偶数」を文字を用いた式で表す。

※整数を n としたときの「偶数」と「連続する2つの偶数」の表し方

5

ある整数 n を使い、連続する2つの偶数を表しました。次の(ア)(イ)に入る文字式を答えなさい。

連続する2つの偶数

- ・偶数は2の倍数なので、 $2 \times (\text{整数})$ と表せます。したがって、整数を n とすると偶数は(ア)と表せます。
- ・連続する2つの偶数のうち、小さい方の偶数を(ア)とすると、大きい方の偶数は(イ)と表せます。

〈正答例〉

(ア) $2n$ (イ) $2n+2$

〈誤答例〉

①(ア) $2n$ (イ) $4n$

②(ア) $n+2$ (イ) $n+4$

③(ア) $n-1$ (イ) $n+1$

誤答例の分析と課題

- ①「4、8」となるように、連続しない2つの偶数を表す場合があることを捉えることができていない。
- ② $n=5$ のとき、「 $n+2$ 、 $n+4$ 」は「7、9」となるように、連続する2つの奇数を表す場合があることを捉えることができていない。
- ③も同様に、 $n=4$ のとき、「 $n-1$ 、 $n+1$ 」は「3、5」となる場合がある。

指導改善のポイント【授業例】

- 数量及び数量の関係を文字を用いた式で表すことができるようにする。

数量及び数量の関係を捉え説明する場面では、**事象における数量や数量の関係を文字を用いた式で表すことができるように指導することが大切である。**

連続する2つの偶数を文字を用いて表現する活動を取り入れる。その際、 **n を整数としていることや、偶数とは2で割ったときに余りが0になる整数であることから、偶数を $2n$ と表せることを確認することが大切である。**
その上で、連続する2つの偶数とは「4、6」、「10、12」のように、**ある偶数とその偶数に2を加えた数であること**（「4、 $4+2$ 」、「10、 $10+2$ 」）を確認し、連続する2つの偶数を「 $2n$ 、 $2n+2$ 」などと表現できるようにする。
また、例えば、連続する2つの偶数を「 $n+2$ 、 $n+4$ 」と表した場合を取り上げ、**これらの式の n に具体的な整数を代入したときに連続する2つの偶数を表さない場合があることを理解できるように指導する。**さらに、連続する3つの偶数や、連続する2つの奇数などを、文字を用いた式で表す活動を取り入れることも考えられる。

【授業例】

- (1)偶数の意味と性質を確認する。
 - ・2の倍数 → $2 \times (\text{整数})$
 - ・2で割ると余りが0になる。
- (2)偶数を文字で表す。
整数 n を用いると、偶数は $2n$ で表されることを確認する。(重要!!)
- (3)連続する2つの偶数を文字で表す。
「4、6」を擬変数を用いて表すと、**「4、 $4+2$ 」、「10、 $10+2$ 」と表されることを確認し、整数 n を用いると、 $2n$ 、 $2n+2$ と表される。**
- (4)「 $n+2$ 、 $n+4$ 」などの誤答を取り上げ、**具体的な整数を代入したときに連続する2つの偶数を表さない場合があることを確認する。**
- (5)偶数を文字を用いた式での表し方を振り返る。
- (6)**条件を変え、「連続する3つの偶数」や「連続する2つの奇数」を文字を用いた式で表させる。**

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」という**数学的活動を行う文脈**を重視した。

結果概要

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

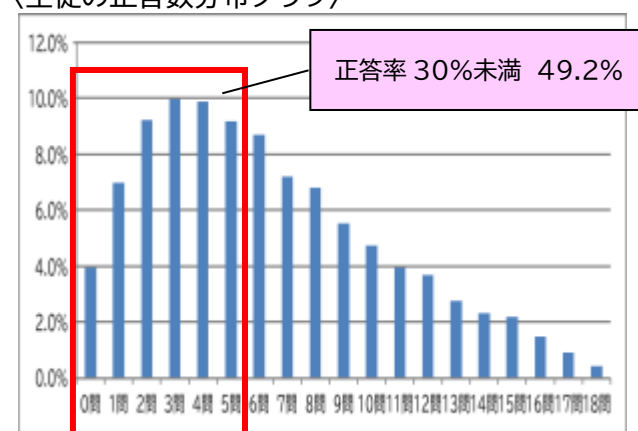
◇正負の数の計算や日常の事象を関数で表し、変化の様子を考察することは概ねできている。

◆事実・事柄の説明、理由の説明、方法の説明など説明することに課題が見られる。

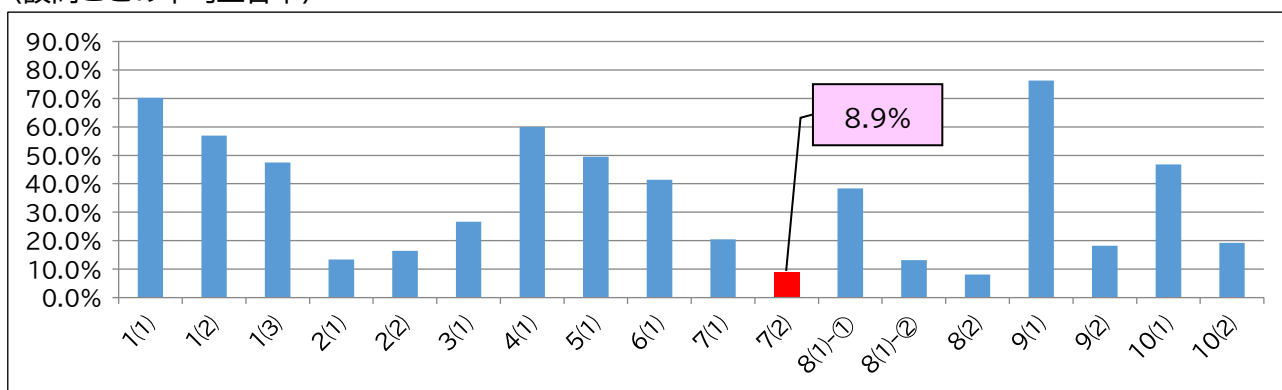
〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	問題数	正答率
学習指導要領の領域	数と式	7 問	33.4%
	図形	5 問	29.3%
	関数	3 問	48.0%
	データの活用	3 問	35.8%
評価の観点	知識・技能	14 問	41.2%
	思考・判断・表現	4 問	13.6%
問題形式	選択式	5 問	48.1%
	短答式	9 問	37.4%
	記述式	4 問	13.6%

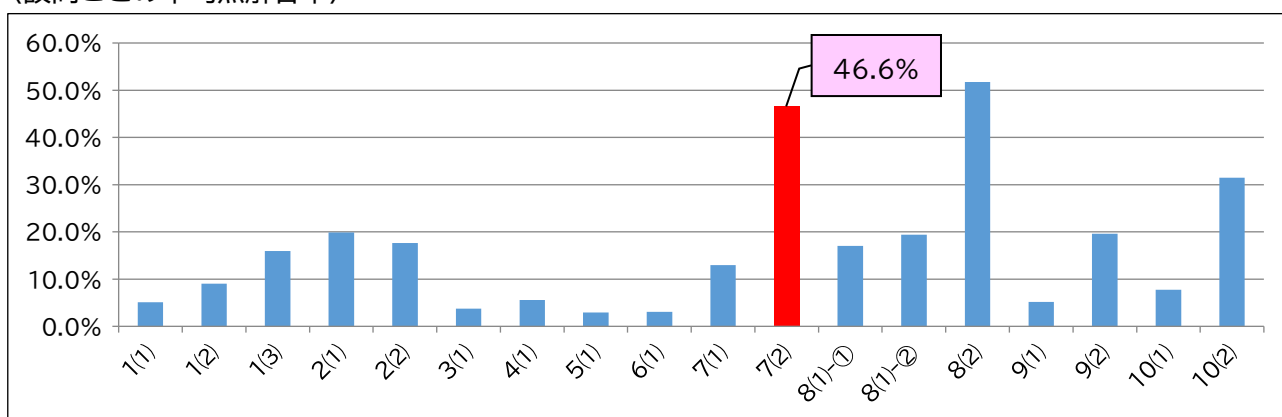
〈生徒の正答数分布グラフ〉



〈設問ごとの平均正答率〉



〈設問ごとの平均無解答率〉



特に課題の見られた領域・問題と指導改善のポイント

〔第2学年 A 数と式 (2)イ(イ)〕 文字を用いた式を具体的な場面で活用すること。

【趣旨】 整数の性質を文字を用いて一般化したうえで、導かれる結論の理由を正しく説明することができるかどうかをみる。

具体的な設問例

【大問 7(2)】

問題「連続する2つの奇数の和は4の倍数になる」という予想が成り立つことを、文字を用いた式を利用して説明する。

7 連続する2つの奇数の和について、次の問いに答えなさい。

(1) けんさんとあきさんは、偶数と奇数の和について考えています。その会話文を読んで、ア～エにあてはまる文字式を答えなさい。

けん：まず、偶数と奇数を1ずつ増やしてきて、
偶数に2を足す。偶数は4。奇数は5。
けん：さらに2ずつ増やして、次の偶数は6。奇数は7だよ。
けん：さらに2ずつ増やして、次の偶数は8。奇数は9。
けん：さらに2ずつ増やして、また偶数は10。
けん：さらに2ずつ増やして、また奇数は12。
けん：偶数と奇数の和は、どちらも偶数になっているね。
あき：偶数の数字でも必ず奇数になるのだから、文字を使って確かめてみよう。
けん：1を整数とする。偶数は $2n$ 、奇数は $2n+1$ 。
けん：その和は、 $2n + (2n+1) = 4n+1$ 。
けん：これを計算して確かめよう。 $2 \times 1 + 1 = 3$ 。
けん： $2 \times 2 + 1 = 5$ 。これは奇数になるよ。

(2) けんさんとあきさんは、(1)の偶数と奇数の和をもとに「連続する2つの奇数の和」がどのような数になるかを考え、次のように予想しました。

〔予想〕
連続する2つの奇数の和は4の倍数になる。

けんの手紙が返ってきたよ。けんさんの予想を厳密に説明しなさい。

〈正答例〉
 n を整数とすると、連続する2つの奇数は $2n-1$ と $2n+1$ と表される。
その和は、 $(2n-1) + (2n+1) = 4n$ となる。
 n は整数なので、 $4n$ は4の倍数である。
したがって、連続する2つの奇数の和は4の倍数になる。

〈誤答例〉
①具体的な数で説明している。(一般化できていない)
 $1+3=4, 3+5=8 \rightarrow 4$ の倍数
②「連続する2つの奇数」を、文字を用いて表すことができない。
 $n, n+1$ や $2m+1, 2n+1$
③4の倍数になることを説明できない。
 $4n+4=4(n+1)$ に変形できない。
④無解答が多い。

誤答例の分析と課題

- ①文字を用いることの必要性和意味、文字を用いる良さについて理解ができていない。
- ②偶数や奇数などの数を文字を用いた式で表したり読み取ったりすることに課題が見られる。
- ③目的に応じて、式を変形することに課題が見られる。例：4の倍数 $\rightarrow 4 \times (\text{整数})$

指導改善のポイント【授業例】

- 事柄が成り立つ理由を、筋道を立て、根拠を明確にして説明できるようにする。

事柄が一般的に成り立つ理由を、構想を立て、**文字式や言葉を用いて根拠を明確にして**説明できるように指導することが大切である。

連続する2つの奇数を、①**文字を用いて表して**、その和を② **$4 \times (\text{整数})$ の形の式に変形すればよい**という見通しをもち、計算結果を式変形して説明できるようにすることが大切である。(文字を用いる必要性・目的に応じた式変形)

- 問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質について統合的・発展的に考察できるようにする。

数学の事象から問題を見だし、数学的な推論などによって問題を解決し、**解決の過程や結果を振り返って数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察できるように**指導することが大切である。

「連続する2つの奇数」から「連続する3つの奇数」に変えて、成り立つ性質を予想したり、その予想が成り立つことを説明したりする活動を取り入れることが考えられる。

【授業例】

- (1)連続する2つの奇数をいくつか取り上げ、それらの2つの和に共通する性質を予想する。(4の倍数など)
- (2)予想した性質がいつでも成り立つことを示すには**どのように考えればよいのか見通しを立てる**。また、4の倍数は **$4 \times (\text{整数})$ で表されることを確認する**。(重要!!)
- (3)連続する2つの奇数を文字で表す。
 n を整数とすると、 $2n-1, 2n+1$ と表される。($2n+1, 2n+3$ も取り上げてよい)
- (4)それらの和が4の倍数であることを説明する。
 $(2n-1) + (2n+1) = 4n$
 n は整数だから、 $4n$ は4の倍数
- (5)説明の過程を振り返る。
- (6)条件を変え、「連続する3つの整数の和」について考えさせる。

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「知識及び技能」を測ることに加え、それらをコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて活用できる「思考力、判断力、表現力等」を測ることを重視した。

結果概要

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

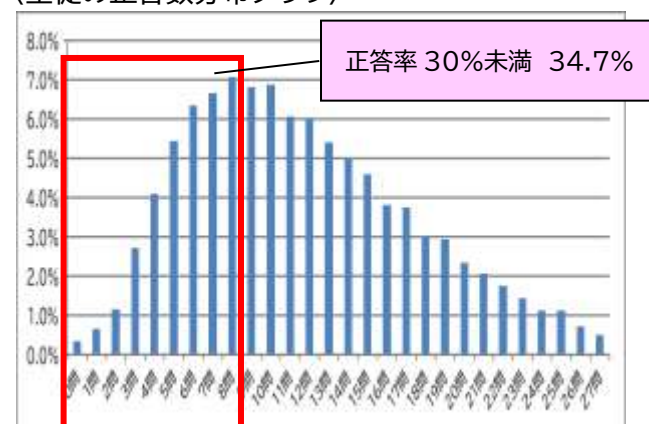
◇会話の内容を理解し、英語の基本的な文法事項を踏まえた上で、適切な語を選ぶことは概ねできている。

◆会話が成り立つように、数を尋ねる疑問詞を用い、正確な疑問文を書くことに課題がある。

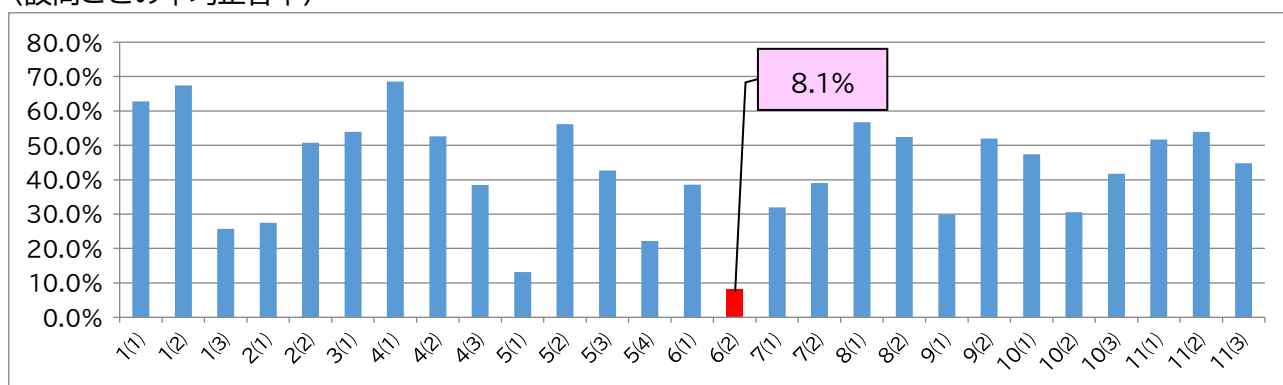
〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	問題数	正答率
学習指導要領の領域	聞くこと	6 問	48.0%
	読むこと	6 問	47.7%
	話すこと(やりとり/発表)	(3 問)	50.1%
	書くこと	12 問	37.9%
評価の観点	知識・技能	17 問	41.0%
	思考・判断・表現	10 問	46.3%
問題形式	選択式	15 問	47.3%
	短答式	6 問	30.1%
	記述式	3 問	39.9%

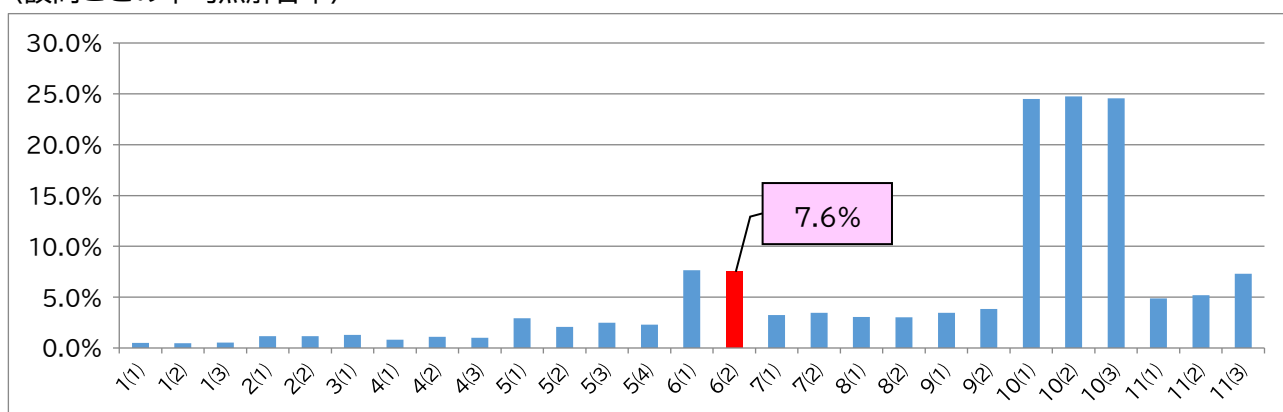
〈生徒の正答数分布グラフ〉



〈設問ごとの平均正答率〉



〈設問ごとの平均無解答率〉



特に課題の見られた領域・問題と指導改善のポイント

◇〔書くこと ア〕 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。

◆【趣旨】 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことができるかどうかをみる。

具体的な設問例

【大問 6(2)】

問題 例を参考にしながら、()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) A: Is this (you) pen?

B: No, it's not. 答え(your)

(2) A: How (book) do you have in your room?

B: I have thirty.

〈正答例〉

How (many books) do you have in your room?

〈誤答例〉

- ・How (many book) do you have in your room?
- ・How (meny book) do you have in your room?
- ・How (books) do you have in your room? など

誤答例の分析と課題

①会話の文脈から本の数を探る疑問文だと理解はできていると思われる。しかし、数を探るときは、**How many + 複数形の名詞(可算名詞)**の形を用いるという知識が不足している。

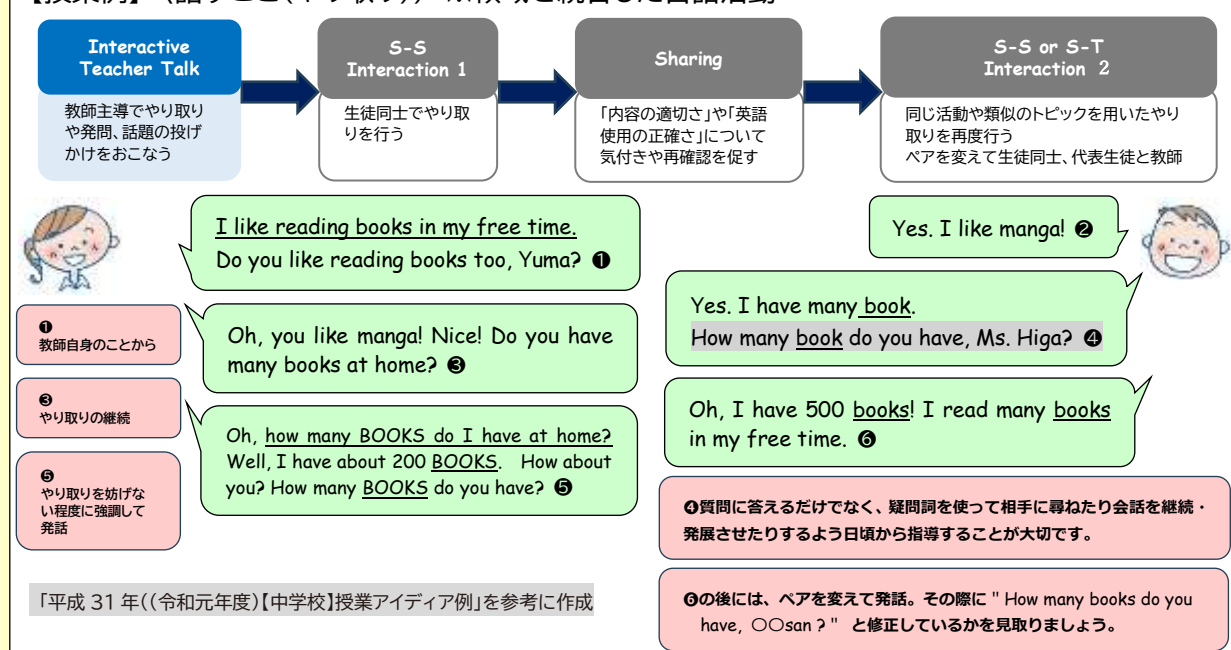
②manyとmenyが混同したりmanyが欠落したりしている。文法事項(綴りを含む)を学んでは意味ある文脈で使い、使っては学ぶといった練習と実際の使用のサイクルを繰り返すことが不足している。

指導改善のポイント【授業例】

○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定し、**言語活動と指導を繰り返しながら**、表現内容(内容面)の適切さや英語使用(言語面)の正確さを高めましょう。

○聞いたり読んだりしたことを、話したり書いたりするなど、領域を統合した言語活動を行いましょう。
【言語活動を通して英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成する学習の流れ】

【授業例】〈話すこと(やり取り)〉 ※領域を統合した言語活動



【書くことの指導の留意点】

◎単調な繰り返し学習(ドリルのような学習)に終始するのではなく、「書く目的」を明確に持たせることが大切です。また、言語面における生徒の気付きを促すような指導の工夫が必要です。▶指導改善のポイント(3年生)に「書くこと」について記載あり。

問題作成の趣旨

学習指導要領で育成を目指す資質・能力を踏まえ、「知識及び技能」を測ることに加え、それらをコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて活用できる「思考力、判断力、表現力等」を測ることを重視した。

結果概要

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

◇日常的な会話を聞き、必要な情報を正確に聞き取ることは概ねできている。

◆日常的話題について **読んだ内容の概要を捉え**、その内容について **適切な語句を使い正確な文を書くこと**に課題がある。

◆社会的な話題について **読んだ内容の要点を捉え**、その内容について **考えと理由を書くこと**に課題がある。

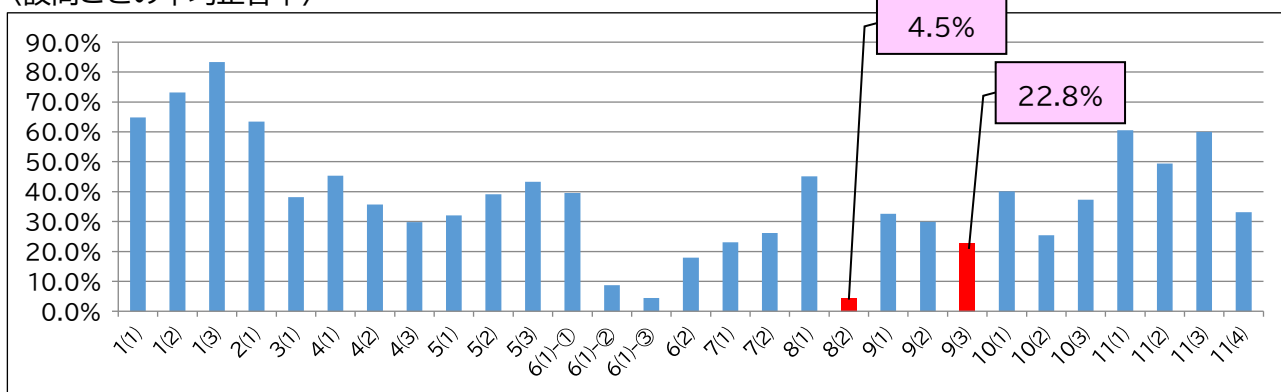
〈分類・区分別集計結果〉

分類	区分	問題数	正答率
学習指導要領の領域	聞くこと	5 問	64.6%
	読むこと	6 問	26.9%
	話すこと(やりとり/発表)	(4 問)	50.8%
	書くこと	14 問	30.1%
評価の観点	知識・技能	15 問	41.8%
	思考・判断・表現	14 問	34.4%
問題形式	選択式	13 問	45.4%
	短答式	8 問	23.7%
	記述式	4 問	31.4%

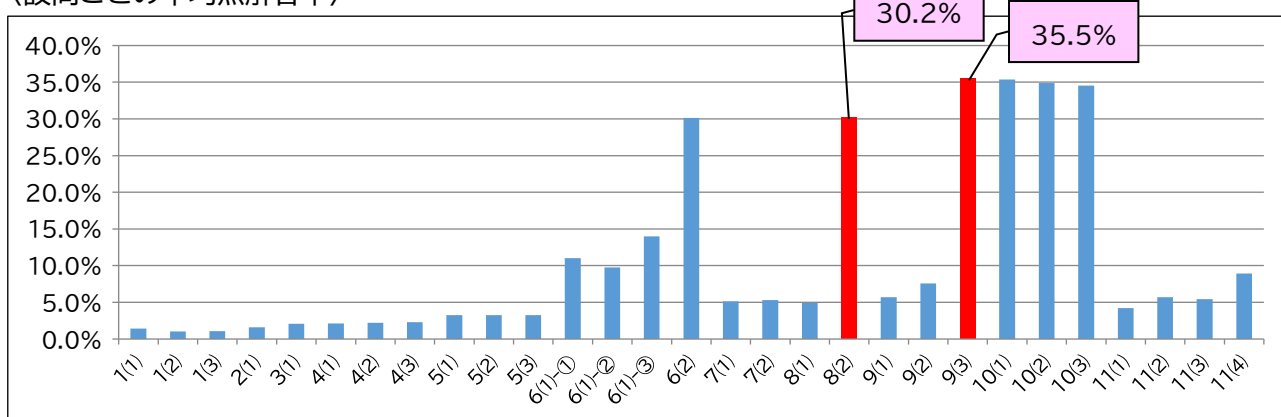
〈生徒の正答数分布グラフ〉



〈設問ごとの平均正答率〉



〈設問ごとの平均無解答率〉



特に課題の見られた領域・問題と指導改善のポイント

〔読むこと・書くこと(領域統合)〕

【趣旨】 9(3) 社会的な話題についての英文を読み、要点を捉え、その内容について自分の考えと理由を書くことができる。
※8(2) 日常的な話題についての会話文を読み、概要を捉え、その内容について適切に書くことも課題!

具体的な設問例

【大問 9(3)】

問題 次の英文は、中学生の悠真(Yuma)が書いたスピーチ原稿です。
原稿を読んで、後の問いに答えなさい。

9 次の英文は、中学生の悠真(Yuma)が書いたスピーチ原稿です。原稿を読んで、後の問いに答えなさい。

11 Hello, everyone. I am Yuma. Do you know about "overtourism"? Today, I will talk about this big "issue" in Okinawa.

Okinawa is very popular with "tourists". It has beautiful nature, nice weather, and friendly people. It is also famous for its history and culture. Many tourists from around the world come to Okinawa and enjoy their time here. In 2014, about 13 million people visited Okinawa. "Tourism" creates many jobs in Okinawa and "supports" the "lives" of many people.

If many tourists come to Okinawa, it also brings problems. "Traffic" is often heavy because there are too many cars in town. The streets are sometimes not clean because some tourists leave their "trash". Some shops are almost "crowded" because they have many tourists. These problems can change our lives. We sometimes cannot see a bus or visit a shop.

Many people think that finding the answers is not easy. Some tourists are now trying something new. In March 2023, Palawan, China, changed the rules and started "controlling" the number of "tourists" in five places on Lianyungang Island. They did that because having too many visitors can "change" the "environment" on the island.

Too many tourists visit Okinawa, and it brings problems, such as heavy traffic, litter, and crowded shops. Finally, I want to ask you a question. Do you think that many people visit Okinawa? Why do you think so? Please tell me your ideas. Thank you.

overtourism 観光公害 "issue" 問題 "support" 助ける "culture" 文化
friendly 友好的 "tourists" 観光客 "lives" 生活 "support" 支える
"trash" ゴミ "crowded" 混雑した
control 一歩管理する "tourism" 観光業 "change" 変える/117
environment 環境

(3) 下線部の問いに答えるように、あなたの考えを Yes または No ではじめ、その理由を 10 語以上の英文で書きなさい。ただし、Yes または No は 10 語に含めます。また、文の数は問いません。

〈正答例〉・Yes, I do. I think tourism is important for Okinawa.
・No, I don't. If many people visit Okinawa, we will have problems.

〈誤答例〉・Yes, I do. I think many people visit Okinawa.
・Yes, I do. Many people is visit Okinawa good.
・No. Many people Okinawa visit is bad.

※質問に正対しない答え、語順の誤り、不完全な文構造の使用など

誤答例の分析と課題

- ①文章の内容を把握することに課題がある。※無回答率が最も高い。
- ②文章の内容を把握し、考えを持つことができていると思われるが、考えを書くための知識・技能が身に付いていない。

指導改善のポイント【授業例】

- 生徒が、まとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の細かな意味にのみとらわれず、大まかな内容や流れを捉えるよう指導しましょう。
- 読んだ内容の概要や自分の考えを、伝え合う言語活動につなげましょう。
- 聞いたり読んだりしたことを、話したり書いたりするなど、領域を統合した言語活動を行いましょう。

【授業例】

「Yuta が沖縄のオーバーツーリズムについて書いたスピーチの概要を捉える」という
読む目的を明確にすることが大切です。



Yuta wrote a speech on the issue of overtourism in Okinawa. Let's read it to understand the outline. Then, let's exchange ideas.

段落ごとに主な内容を表す英文と、その具体的な情報を表す英文を区別しながら読むように指導することが大切です。

一人一台端末の書き込み機能を活用すると効果的です

When you read the speech, find the main point of each paragraph. You can mark the main point on your tablet.

「令和 5 年度【中学校】授業アイデア例」・「報告書(P46～47)」を参考に作成



1. 文章を読む目的を把握する。



2. 各段落の主な内容を捉える。



3. 段落の関係を把握する。



4. 考えを「聞く」「話す」で交流する。
→考えを書く



※概要をまとめた英文をグループで比較・検討する活動も有効です。

【読むことと書くことについて】

令和 5 年度全国学力・学習状況調査報告書 コラム⑥【小学校外国語科での学習を踏まえて中学校初期の「書くこと」を指導する】一部抜粋
◎読んだり書いたりする学習を行った直後に正確に書くことができたとしても、実際のコミュニケーションの場面でその英文を活用することができるようになるには時間が必要になる。➤だからこそ、練習のような当該単元で学習した語や文法事項のみを使用して書く活動だけでなく、既習事項も含めて書くことの言語活動を適切に設定することが求められます。

〈各教科の指導改善のポイント〉

★中学 3 年生 国語


★中学 3 年生 社会

★中学 3 年生 数学

★中学 3 年生 理科

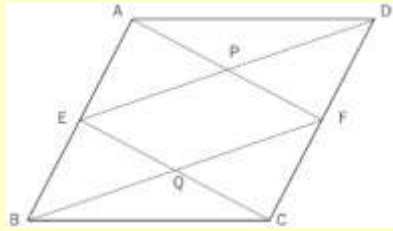
★中学 3 年生 英語

特に意識して取り組んでほしい領域・問題

中学３年生 国語	領域・問題番号	〔第２学年 Ｂ 書くこと (1)ウ〕 大問 1(4)
出題の趣旨	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	
具体的な設問	<p>知念さんは、【知念さんの疑問の答えと考えたこと】を、レポートとしてクラスに掲示しようと考えました。(中略)。国吉さんのアドバイスを踏まえ、(※)に書き加える内容を、あとの条件にしたがって書きなさい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>条件２ 敬語以外に、どのような言葉を発するのがよいと思うか、(以後省略)</p> <p>条件３ あなたが条件２で考えた言葉は、相手とのコミュニケーションにおいて、どのような役割を果たすと考えるかを書くこと。</p> </div>	
指導改善の ポイント	<p>□「書くこと」を指導する際には、単元の中で、生徒に「身に付けさせたい力」を発揮させたり、試行錯誤したりする場面を意図的に設定することが重要である。</p> <p>□今回の指導事項においては、「根拠の適切さを考える観点」を設定し、書いた文章を読み直したり、自分の考えが伝わりにくい部分に説明や具体例を加えたりする場面を設定する等の学習指導が考えられる。</p> <p>【教師の発言例】</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0f2f1; width: 300px;"> <p>今日は、「根拠の適切さを考える観点」に沿って、自分が書いた文章を読み直します。そのあと、同じ観点で友達の文章も読み合い、感想を交流します。</p> </div> <div style="margin-left: 20px; border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #bbdefb; width: 200px;"> <p>□根拠は、確かな事実等に基づいている。</p> <p>□根拠となる事実等をちゃんと解釈した意見である。</p> <p>□意見が根拠に支えられている。</p> </div> </div>	


中学３年生 社会	領域・問題番号	〔第３学年 Ｃ 歴史 (1)ア(オ)〕 大問 1(2)
出題の趣旨	普通選挙法と治安維持法という、民主主義の拡大と抑制という矛盾した内容の法律が同じ年(1945年)に出されたものであることを考えさせたい。	
具体的な設問	普通選挙法と同じ年に制定され、国の体制を変えようとしたり、私有財産制を否定したりする社会主義の動きを取り締まるための法律を何と言いますか。	
指導改善の ポイント	<p>【ポイント１】 歴史的分野の学習のねらいを具体化した授業展開</p> <p>□「我が国の歴史の大きな流れ」を「各時代の特色を踏まえて理解する」という歴史的分野の学習の基本的なねらいを踏まえ、政治の展開、社会の様子などに着目し、学習した内容を関連付けて、言葉や図などで表したり、互いに意見交換したりする活動を取り入れることが重要である。</p> <p>【ポイント２】 様々な視点や方法を用いて調べた事実を、相互に関連付けて考える場面の設定</p> <p>□今回の指導事項においては、「普通選挙法」と「治安維持法」が制定された意味や意義を理解するために、当時の国際情勢と政府の意図などキーワードを紐づけて考えたり、国民と政府など違った立場から考えたりする場面を設定する等の学習指導が考えられる。</p>	

特に意識して取り組んでほしい領域・問題

中学 3 年生 数学	領域・問題番号	〔第 2 学年 B 図形 (2)イ(イ)〕 大問 1(2)
出題の趣旨	図形の性質や関係を論理的に考察し、表現できるかどうかをみる。【理由の説明】	
具体的な設問	<p>【平行四辺形になる理由の説明】</p> <p>平行四辺形ABCDにおいて、辺ABの中点をE、辺CDの中点をFとする。また、辺AFと辺DEの交点をP、辺BFと辺CEの交点をQとする。このとき、四角形EQFPが平行四辺形になる理由を説明しなさい。</p>	
指導改善のポイント	<p>□証明の方法について理解するためには、方針を立て、それに基づいて証明することが大切である。そのため、「したがって」、「よって」などの言葉や用語、記号を適切に用いて自分なりに表現することから始め、2つの証明を読んで相違点や誤りを見つけるなど、証明を評価・改善する活動を適宜取り入れる。</p> <div style="background-color: #e0ffe0; padding: 10px; border: 1px solid #008000; margin-top: 10px;"> <p>証明を書くことについては、書き方に拘ることをせず、3年生までを見通し、次第に簡潔・明瞭なものとなるように段階的に指導していくよう配慮する必要がある。</p> </div> <div style="background-color: #ffffe0; padding: 10px; border: 1px solid #008000; margin-top: 10px;"> <p>【授業例】</p> <p>(1)成り立つ事柄を明確にする。「(予想)四角形 EQFP はどんな四角形か。」</p> <p>(2)根拠を示すには、どんなことが言えればいいか。「(根拠)平行四辺形の定義や性質」</p> <p>(3)四角形 EQFP が平行四辺形になることを説明する。「(説明)数学用語の活用」</p> <p>(4)説明の過程を振り返る「(統合・発展)他にも説明する方法はないか。」</p> </div>	

中学 3 年生 理科	領域・問題番号	〔第 3 学年 2 分野 (5)生命の連続性〕 大問 1(3)①
出題の趣旨	与えられた資料などを活用し、探究の過程において見通しを持ち、必要な操作を指摘できるかどうかをみる。	
具体的な設問	(会話文中に示されたアサガオの開花時の特徴を読み取り、)「アサガオの花を他家受粉する際、事前にどのような操作を行うべきか、「つぼみ」という語句を用いて書きなさい。」という設問で、アサガオの交配実験の際に自家受粉しない条件を満たすよう、必要な操作を答える思考力・判断力・表現力を問う設問である。	
指導改善のポイント	<p>【ポイント1】 実験の「目的」と「見通し」を明確にするための言語活動の設定</p> <p>■実験を「手順通りにやること」が目的化し、何のために実験を行うのか、どのような結果が予想されるのかといった見通しが立てられていない可能性がある。</p> <p>□実験の方法、手順を教師が示すだけでなく、生徒自身が仮説を設定し、仮説をもとに実験・検証計画を立てる活動を取り入れる。</p> <p>【ポイント2】 「対照実験」を応用した理科の見方・考え方を働かせる場面の設定</p> <p>□操作をする場合と、しない場合の「相違点」に着目し、「比較」「関連付け」「条件制御」といった理科の見方・考え方を働かせる場面を設定する。これらの見方・考え方を生徒自身が見だし、働かせるような効果的な教師の発問を計画する。</p> <p>【ポイント3】 観察や資料から「仕組み」を読み取る活動の強化</p> <p>■現象や操作の「事実」を覚えることに終始し、「なぜその操作が必要なのか」という根拠となる生物の仕組みや、性質の理解が不十分になっている可能性がある。</p> <p>□観察に用いる生物の構造と働き、生育の過程に焦点を当てるといった目的を持たせた観察・考察の活動を充実させる。</p>	

特に意識して取り組んでほしい領域・問題

中学 3 年生 英語	領域・問題番号 [第 3 学年 書くこと ア] 大問 1(2)												
出題の趣旨	文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことができるかどうかをみる。												
具体的な設問	<p>与えられた単語を適切な形に変えて、会話が成り立つように英文を完成させる。</p> <p>〈友達同士の会話〉</p> <p>A: You went camping last weekend. How was that?</p> <p>B: It was great. Many *stars (see) in the night sky.</p> <p>A: Sounds cool. *star 星</p>												
指導改善の ポイント	<p>□実際のコミュニケーションにおいて複数の表現を取り上げた上で、使用した表現を共有し、分類や比較を通して表現がもつ言語の働きを考えることが大切です。</p> <p>(1)言語面における生徒の気づきを促す工夫 ▶板書の活用(相違点の視覚化)</p> <p>教師が、生徒とのやり取りを通して、多くの例文を引き出した後、左右を比較しながら相違点に気付けるように板書にまとめ、視覚化する。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>〈例〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 5px;">「友達同士の会話（キャンプの話題）」</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">・ I <u>see</u> many birds there.</td> <td style="padding: 5px;">・ Many birds <u>are seen</u> there.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・ I <u>saw</u> many birds there.</td> <td style="padding: 5px;">・ Many birds <u>were seen</u> there.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・ My father <u>always makes</u> a campfire.</td> <td style="padding: 5px;">・ A campfire <u>is always made by</u> my father.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・ My father <u>made</u> the campfire.</td> <td style="padding: 5px;">・ The campfire <u>was made by</u> my father.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">・ My mother <u>took</u> these pictures.</td> <td style="padding: 5px;">・ These pictures <u>were taken by</u> my mother.</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <p style="border: 1px solid green; padding: 10px; border-radius: 10px; background-color: #e0ffe0;">言語の正確さを高めるためには、ある程度時間がかかることに留意して、何度も様々な既習表現に触れ、言語活動と効果的に関連付けて指導しましょう。</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">「平成 31 年度(令和元年度)【中学校】授業アイデア例」を参考に作成</p> <p>(2)使用の正確さを高める工夫 ▶ICT の活用(英文の添削)</p> <p>話すことで表出した英語表現を書く活動につなげる。正確性を向上させるために、AI を活用した文章アシストツール(DeepL Write など)の活用も有効である。日本語で書いた文章を翻訳させるのではなく、生徒自身に英文を書かせることが大切である。</p>	「友達同士の会話（キャンプの話題）」		・ I <u>see</u> many birds there.	・ Many birds <u>are seen</u> there.	・ I <u>saw</u> many birds there.	・ Many birds <u>were seen</u> there.	・ My father <u>always makes</u> a campfire.	・ A campfire <u>is always made by</u> my father.	・ My father <u>made</u> the campfire.	・ The campfire <u>was made by</u> my father.	・ My mother <u>took</u> these pictures.	・ These pictures <u>were taken by</u> my mother.
「友達同士の会話（キャンプの話題）」													
・ I <u>see</u> many birds there.	・ Many birds <u>are seen</u> there.												
・ I <u>saw</u> many birds there.	・ Many birds <u>were seen</u> there.												
・ My father <u>always makes</u> a campfire.	・ A campfire <u>is always made by</u> my father.												
・ My father <u>made</u> the campfire.	・ The campfire <u>was made by</u> my father.												
・ My mother <u>took</u> these pictures.	・ These pictures <u>were taken by</u> my mother.												